

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		東京都千代田区岩本町三丁目10番1号									
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		山崎製パン株式会社 代表取締役社長 飯島 延浩									
事業概要		飲食料品小売業									
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	2,784	kl							
	<input type="checkbox"/> 5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数			台						
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者										
計画期間		2022年度～2024年度									
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		<small>(主店対象の方針)</small> 1. 店舗は自店の電気・ガスの使用量に関する情報を本部に毎月提供する。本部はエネルギー使用実績を集計して店舗に毎月フィードバックし、省エネルギーに配慮した店舗運営の意識付けを行う。 2. 店舗において省エネルギー教育を実施し、省エネルギーに配慮した店舗運営を行うことにより、エネルギー効率の向上と環境負荷の軽減を図る。 3. 店舗の空調機器および冷凍冷蔵機器は四半期に1回、簡易点検を実施してフロン漏えいを防止する。 4. 店舗で使用するレジ袋をバイオプラスチックを含むレジ袋に切り替え、石油由来のCO2排出を削減する。 5. 店舗によっては営業時間の見直しを可能としている。 <small>(新規開設店対象の方針)</small> 6. 新規店にはLED照明を導入する。またノンフロンの冷凍冷蔵機器またはインバーター機器を導入し、ショーケース等の稼働効率の向上と省エネ化を図る。 <small>(既存店対象の方針)</small> 7. 更新期を迎えた旧設備の店舗には、ノンフロンの冷凍冷蔵機器またはインバーター機器を導入し、ショーケース等の稼働効率の向上と省エネ化を図る。 8. 更新期を迎えたLED照明は最新型の高効率のLED照明に切り替える。									
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		推進責任者である管理本部長、担当者である総務課長のもと環境対策委員会で実施計画の策定と進捗管理を行う。 <体制>統括本部長→推進責任者(管理本部長)→推進担当者(総務課長)→各部門 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">環境マネジメントシステム名称</td> <td style="width:30%;">独自システム</td> <td style="width:15%;">適用範囲</td> <td style="width:15%;">本部及び店舗</td> <td style="width:10%;">取得年月日</td> <td style="width:10%;"></td> </tr> </table>				環境マネジメントシステム名称	独自システム	適用範囲	本部及び店舗	取得年月日	
環境マネジメントシステム名称	独自システム	適用範囲	本部及び店舗	取得年月日							
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		<small>(主店対象の方針)</small> 1. 店舗は自店の電気・ガスの使用量に関する情報を本部に毎月提供する。本部はエネルギー使用実績を集計して店舗に毎月フィードバックし、省エネルギーに配慮した店舗運営の意識付けを行う。 2. 店舗において省エネルギー教育を実施し、省エネルギーに配慮した店舗運営を行うことにより、エネルギー効率の向上と環境負荷の軽減を図る。 3. 店舗の空調機器および冷凍冷蔵機器は四半期に1回、簡易点検を実施してフロン漏えいを防止する。 4. 店舗で使用するレジ袋をバイオプラスチックを含むレジ袋に切り替え、石油由来のCO2排出を削減する。 5. 店舗によっては営業時間の見直しを可能としている。 <small>(新規開設店対象の方針)</small> 6. 新規店にはLED照明を導入する。またノンフロンの冷凍冷蔵機器またはインバーター機器を導入し、ショーケース等の稼働効率の向上と省エネ化を図る。 <small>(既存店対象の方針)</small> 7. 更新期を迎えた旧設備の店舗には、ノンフロンの冷凍冷蔵機器またはインバーター機器を導入し、ショーケース等の稼働効率の向上と省エネ化を図る。 8. 更新期を迎えたLED照明は最新型の高効率のLED照明に切り替える。									
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2022)年度	前年度の実績 (2023)年度	目標年度(B) (2024)年度	増減率 ((B-A)/A)						
		2,784 t-CO ₂	2,784 t-CO ₂	2,784 t-CO ₂	0.0%						
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)						
0.4440 原単位 当たり t-CO ₂		0.440 原単位 当たり t-CO ₂	0.431 原単位 当たり t-CO ₂	3.0%							
原単位の考え方		これまで原単位の密接な関係値(年間営業時間×店舗延べ床面積)としていたが、今年度からより密接な関係値である売上高に変更する。									